

ゴマダラキリガ

Conistra castaneofasciata

兵庫県：

環境省：

種の概要

開張29～34mm程度。前翅は赤みを帯びた橙色で、褐色の斑紋を散布する。平地に生息し、幼虫はクヌギを食べる。成虫は年1化性で、10月～11月頃に羽化して越冬し、4月～5月頃まで見られる。



写真提供：阪上洗多

国内分布

北海道、本州、佐渡島、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、宝塚市、川西市、三田市、相生市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				○



特記事項

新規追加種

平地二次林のキリガ類の中では分布は広いが個体数が少なく、やや分布も限られている。容易に識別でき、指標種として適しているため新規追加種とした。既知の食餌植物はクヌギで、アベマキなども食べると考えられる。

保護上の留意点